

令和7年度第三者評価 改善状況報告書

令和 8年 5月 26日

施設名	港区立たかはま保育園	施設所管課	芝浦港南支所
所在地	東京都港区港南4-3-7	指定管理者	株式会社 日本保育サービス

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和8年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和8年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
<p>【職員の意識向上とチームワークの促進】</p> <p>日頃から職員間で子どもの姿を共有し、実践を通じた保育の振り返りを行っている。しかし、職員が一人で悩みを抱え込まず、個々の思いや柔軟なアイデアを活かせる組織環境の維持が不可欠である。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 月に1回実施している職員会議の中で、保育環境や保育内容について意見交換を行い、保育の振り返りや悩みを共有する機会を設けた。 会議等では、個々の思いや相談・意見が出しやすいよう、小グループ編成を取り入れ、職員同士が話しやすい環境づくりに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「保育の気づきボード」を事務所内に設置し、個々の気づきや悩みを職員間で共有・相談できる環境を整え、園全体で保育運営について考える機会を設ける。 毎月の職員会議において、子どもの姿や育ちを踏まえた保育環境や保育内容について、テーマを設定し話し合う機会を継続して設ける。 各クラスの保育見学や担任交換DAY等を通して、様々な職員が他クラスの保育に関わり、保育の振り返りや悩みを共有しながら、柔軟なアイデアを出し合える体制づくりを進める。 	<p>所管課として、日々の保育を振り返りながら継続的に話し合いを行い、職員の専門性向上と保育の質のさらなる充実が図れるよう支援していく。</p> <p>また、「保育の気づきボード」や担任交換DAY等の新たな取り組みについては、実施状況や効果を定期的に確認し、園全体の組織力向上に向けた助言・指導を行っていく。</p>
<p>【保護者との信頼関係構築と保育の見える化】</p> <p>様々な機会を通じた「保育の見える化」や適宜面談を行っているが、活動報告に留まらない深い理解（遊びのねらいや育ちの過程）の共有が求められている。</p> <p>保護者とともにも子どもの成長を支える「パートナーシップ」の継続的な強化が課題である。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 日々の保育の内容や、子どもの様子について、乳児クラスはコドモン連絡帳の配信、幼児クラスは写真付き掲示を行い、保育の様子を保護者へ伝えている。それに加え、模造紙を用いて写真を組み込みながら、遊びのねらいや子どもの育ちの過程が伝わるよう工夫し、保護者が見やすい廊下へ掲示を行った。 年度末に懇談会を開催し、1年間の子どもの成長をスライドで共有するとともに、園の保育内容や育ちについて伝える機会を設けた。 年2回の個人面談に加え、必要な家庭に応じて、個別の声かけや面談を実施し、育児相談や園での様子を丁寧に伝えることで、保護者とともにも、子どもの成長を見守り、継続的な支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 園での子どもの姿や遊びの様子、保育のねらい等について、SNS (Instagram)も活用しながら継続的に発信を行い、保護者へ保育の見える化を進めていく。 保育参観や保育参加を通して、保護者が実際に子どもの姿や保育の様子に触れ、遊びのねらいや育ちの過程について理解を深められる機会を設けていく。 0歳から5歳までの育ちのつながりを感じられるよう、日々の保育内容や異年齢での関わりを、模造紙を用いて写真やコメントを組み込みながら、廊下や階段へ掲示し、継続的な成長の見える化に取り組んでいく。 	<p>今後も継続して子どもの成長を保護者と共有し、より深い理解と協力関係を構築していくために、所管課としてSNS (Instagram) の効果的な活用方法について指導・助言を行う。情報発信ツールの利用にあたっては個人情報保護等のセキュリティ面での適切な運用についても支援していく。</p> <p>また、保育の見える化の取り組みが形骸化しないよう、定期的実施状況を確認し、必要に応じて改善提案を行っていく。</p>
<p>【地域施設との協力・協働体制の強化】</p> <p>プラザや近隣住民・公共施設との連携は行われているが、より地域に密着した園を目指すには、既存の交流をさらに広げる必要がある。</p> <p>園が主体となって企画・立案し、地域資源を積極的に活用していくことが課題である。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 港南子ども中高生プラザ、地域施設（ゆとりーむ）との交流や連携を継続して行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の取り組みを継続し、地域との交流機会をさらに広げることで、港南地域全体で子どもを見守り、安心して子育てができる環境づくりにつなげていく。 探究活動の一環として、5歳児クラスによるお仕事インタビューや職業体験を実施予定。地域の方との交流を深め、地域資源への関心や親しみを育てていく。 園内行事（夏まつりや保育園であそぼう等）に地域の方を招待し、自施設の保育や取り組みを知っていただく機会を設ける。 SNS (Instagram) や掲示物等を活用し、園の取り組みや子どもの育ちを地域へ発信していく。 	<p>今後計画しているお仕事インタビューや職業体験の実施状況、並びに園内行事の実施状況を確認するとともに、近隣住民や公共施設との更なる交流を深め、地域全体に開かれたより豊かな保育環境の創出に向けて、園が主体的に地域と関わる取組を支援していく。</p>